



Q 現在のお仕事について教えてください。

NPO法人市民コンピュータコミュニケーション研究会（J.C.A.F.E）でコンピュータの技術者をしています。

主にインターネットのサーバーの管理、ユーザーサポート、システム開発をしています。ちなみに、今は、ホームページのウェブサイトを簡単に更新できるようにソフトウェアの開発に取り組んでいます。そのソフトウェアは名付けて「すぐ楽ウェブ！」。簡単そうでしょう（笑）。

Q 現在の仕事を始めたきっかけは何ですか？

そもそも私がパソコン通信に興味を持ち始めたのは、岡部和明著の『パソコン市民ネットワーク』という本を読んだことがきっかけです。この本で、コンピュータのネットワークを利用して、活動を広げている市民団体があることを知り、その必要性を感じることも、自分もやってみたくと思うようになりました。当時、インターネットを市民活動で活用しようという取り組みは少なかつたんです。そこで、私以外にもその必要性を感じていた人たちが全国から集まって、今勤めている市民コンピュータコミュニケーション研究会（J.C.A.F.E）を設立しました。

Q J.C.A.F.Eとはどのような団体なのですか？

J.C.A.F.Eは市民団体やNPOのコンピュータやインターネット利用を支援するNPOです。現在は企業中心の社会ですが、われわれの活動を通じて、いろいろな市民団体やNPOも、政府や企業に対してもっと力を発揮できる社会を作るという大きな目的があります。

自分が仕事をするなら、世界を少しは住みやすい所にした。そのために小さな仕

事を日々やっているわけです。目的に近づくのは簡単ではないですけど、まずは彼らの情報発信能力やコミュニケーション能力が高まるよう、小さな仕事からやっています。

Q NPOで働くようになった経緯を教えてください。

大学卒業後はすぐに廃棄物コンサルタント会社の契約社員になりました。契約社員になったのは、ボランティアとか仕事以外にやりたいことをするための自由がほしかったから。

例えば、大企業に入ると、収入はいいけど転勤があるし、勤務時間が長くて自分の時間が少なくなりますよね。ボランティア活動をする時間がしつかりとれないんです。今している、人の助けになる仕事っていうのは、ストレスを感じることもあるし、充実しているとはかりは言えないけど、他の会社にいるよりは、精神的に充実していますね。

Q ボランティアの魅力は？

若いころは正義感でボランティアをやっていたのかもしれませんが、いまは楽しい。

人は誰かの役に立ちたいという想いがあると思うんですよ。そういう同じ気持ちを持つ人たちと一緒に何かひとつの目的に向かって取り組むプロセスがすごく楽しいんですよ。

Q 学生時代の思い出を教えてください。

学生時代で一番印象に残っているのは大先輩でステージを作ったことですね。学祭の後、すぐに撤収を始めて、それが終わったら朝の4時から打ち上げ(笑)。今も変わらないのかな。学生時代からいろいろボランティアをしてきました。他にも大学のボランティアサークルで、平和運動などもしていましたね。それが現在にも繋がっています。

Q 総合科学部の魅力は？

実際に大学で学ぶことと、社会に出てから行う仕事がかき離れている場合も多いですからね。いろんなことに対応できる精神的な柔軟性が必要なんです。何でもそうだけど、ブレイクスルーは、それまでとは違う視点で見たときにできるものであって、一方向的に物事を見ていたのはいつまでたっても壁は突破できない。壁にぶちあた

った時に取ると良い方法の一つが、自分を違う人に置き換えてみることです。例えば自分が首相だったらどうするだろうか。交渉する力を身につけるのにも役立ちますよ。そういう考え方を学べるのが総合科学部だと思います。

Q 学生に言いたいこと&アドバイスを

まず、NPOで働きたいという学生さんに一言、卒業してすぐにNPOに入ろうとしないでください。NPOは小さくて資金がないので社員教育ができません。即戦力になる人材しか採用できません。一度企業に勤めて、社会人の常識、仕事の仕方、自分自身の管理の仕方、自分の専門の能力を身に付けてから、NPOの門を叩いてほしいと思います。

いろいろなことに興味を持って、経験できることは何でも経験してほしいと思います。それから、自分自身の人間性を深めるために、いい本をたくさん読んでください。いい本というのは、何か壁にぶつかったときに読み返して、その壁を乗り越えたり、問題を解決したりするためのヒントになるような本です。自分の関心のある分野でいいですから、少し難しいと感じるくらい

本を選んで、背伸びするような読書をしてください。読んでわからないところがあっても、何年後にわかることもありますから。困ったときに何を参考にすればよいか分かる勘を磨いておくためにも、そういう本を読む習慣をつけておくと思いますよ。



取材風景
～ J C A F E 事務所にて～

(担当 17生 村上真理恵)

J C A F E ホームページ
<http://www.jcafe.net/>



OG紹介

亀川未来子さん(平成10年度入学)
東広島商工会議所

商工会議所について

東広島商工会議所で働いています。仕事内容は商工会議所の企画やイベントの案内を出したり、取りまとめたりという主に事務の仕事です。実際に何かをつくっているというわけではないので、目に見える成果は示しにくいですね。形になっている仕事としては、業種ごとの報告書を作ることです。

そもそも、商工会議所がどんなものかイメージしにくいでしょう(笑)。私も入るまではわかりませんでした。商工会議所は、東広島で事業をされている会員の方を対象にしている団体です。会員には個人で

あれ、法人であれ、東広島で事業をしていなければならないことができます。会員以外の方が参加できる催しも行ないますが、会員を主な対象としたものがほとんどなので、市民の方々にとっては商工会議所が身近なものとはいえないかもしれませんね。会議所が開催するものとして、例えば、会員を対象とした講演会が年に何回か開かれて、著名人を招くこともあります。また市と協議する場をもって、駅前開発にも関わっています。

そのほかにも、簿記や販売士の検定をやっている、検定のための講習会も開いています。これは会員以外の方も参加できますよ。

学生生活

総合科学部について

外国語コースに所属し、ドイツ語専攻でした。元々語学が好きだったので、総合科学部に入学する前から外国語コースに行くと思っていたました。実際に入ってみると、『総合科学部は、エキスパートを育てる学部ではなく、シエナリストを育てる学部』だと聞いて、ショックでしたね。でも理系

と文系の人と一緒に勉強するので、さまざまな種類の人間と付き合えて面白いし、いろいろな話も聞けたので、そこはすごくよかったです。

ドイツ留学

私は一年の夏休みはイギリスに英語を勉強しに行つて、三年の前期にはドイツの語学学校に留学しました。もともとは四年で卒業する予定だったのですが、留学の制度があることを知って、またドイツに留学しました。結局卒業が一年遅くなりましたが、行つてよかったと思います。

ドイツにいたときには暇を見つけてはヨーロッパ各地を旅行しました。ヨーロッパは、他の国と陸続きになっていて、電車やバスですぐに外国に行けます。日本から行くともたお金がかかるので、ドイツにいるうちに、時間がある限り行つてこうつて感じでした。治安も全体的によかったんですが、唯一スペインに行つた時にひったくりにあつてしまったのは辛かったです。

留学してドイツは、日本人にとって住みやすい所だと感じました。ドイツ人は、すぐには人に心を開かない、少し内向的な部分があり、このあたりは日本人と似ていま

